

科目名		人間工学演習	
科目責任者		榎 原 毅	(人間工学 教授)
担当者		藤 原 広 明	(人間工学 准教授)
開講時期:		2～3年次	単位数: 6 単位
			時間数: 90分× 45 回
● 科目の教育目標			
一般目標 (GIO)			
人間工学で知っておくべき解剖生理の知識をベースに、人の生理機能、動作や能力の測定方法について学ぶ。職域への人間工学的知識の応用例として、ISOやAmerican Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH) が策定している人間工学ガイドラインについても学ぶ。また、脳波等を用いた睡眠の評価方法、反応時間の測定などを通じた覚醒度の評価方法についても学ぶ。さらに実験動物を用いた睡眠生理および時間生物学的研究の方法についても学ぶ。			
行動目標 (SBOs)			
1) 筋力(握力、ピンチ力等)の測定方法、表面筋電図の測定を通じ、筋機能の測定方法を学ぶ。			
2) ISOあるいはACGIHの作業関連性筋骨格系障害の予防ガイドラインについて学ぶ			
3) サイコモータービジランステストを用いた覚醒度の評価方法について学ぶ。			
4) 脳波を用いた睡眠の記録方法、評価方法について学ぶ。			
5) 実験動物を用いた睡眠生理の研究方法について学ぶ。			
6) 実験動物を用いた時間生物学的研究方法について学ぶ。			
● 評価方法		演習の参加内容50%、討論等50%で評価する。	
● 参考文献		演習の中で必要に応じ紹介する。	